

R6年秋季例大祭奉納行事に関する本当屋寄り（第4回）の結果

日時： R6年6月9日（日）8時半～

場所： 大坪常会集会所

出席： 上里（健）、木本（）、末國（栄）、末國（富）、竹本（）、中田（真）、中田（猛）、成清、
坊田（）、松本（）、吉崎（）

進行は中田常会長

検討事項

1. 前回会合の結果

資料あり 以下の補足説明あり

- ・「神前料理について駅組常会の資料があり明確になった」末國（栄）、中田（真）
- ・神輿倉の収容物を見た。狛犬のための菰（こも）が計4枚必要（成清）
- ・紙垂（しで）は必要枚数を宮司が作ることになっている（成清）

2. 各担当の経過報告

当屋総代（成清）：巫女の舞の世話も本当屋の役務

当屋会計（坊田）： 行事頭領（末國）：

当屋書記（木本）：名簿の名前にはフリガナが要る。

胴卸し・練習担当（坊田）：一場木工所の練習場所使用はOK。楽打ちの参加者を把握中

神前供え物担当（中田（真））：

注連縄ワラほぐし・縄い担当（末國（栄））：ワラをそぐう必要がある。新丸氏から足踏み式の千波を借りる。他はリースを含めて検討する。

賄い担当（成清）：子供にどんなものが良いか検討中

幟立て・注連縄張り・控室等の設置担当（坊田）：ワイヤレスマイクなど一式を川立神楽団が持っており、河野氏のルートで借用できる。幟の竹竿は準備済みだが種類と立てる位置を考える必要がある。

3. 予算案作成について各担当への協力依頼

裏付けある予算作成のため以下の担当および役員は、必要経費の見積表（支出名目、単価、金額）を6月末までに提出することにしたいがどうか。このとおり了解された。

成清総代：太鼓借用、当屋寄り、ワラ保管庫使用の謝礼

末國行事頭領：傷害保険料、衣装のクリーニング代、舞殿・本殿の音響リースほか

当屋書記：配布物の印刷費など

注連縄ワラほぐし・縄い担当：

胴卸し・練習担当：

幟立て・注連縄張り・控室等の設置担当：

神前供え物担当（金の御幣宅（集会所）での御供えと直会、大祭朝の神前料理を含む）：
賄い担当（胴打ち練習）：

4. 役割表（案）について

別紙に素案を作った。本当屋を決めてから不足分について他常会へ依頼することにしたい。
別紙案を持ち帰り、6月末までに本当屋分を固め、次回本当屋寄りで決めたい。

6月16日の常会の後で検討する。

5. 文書の作成（確認）

本当屋が作る対外向け文書は以下のとおり。他にもあるか？

文書名や内容	配布時期	配布先、内容、様式
当屋寄り開催案内	7月下旬	宮司、総代会、常会長、神社委員、保存会あて 普通の開催案内、会場は川地コミュニティ A4、横書き 成清総代から案が示された。
役割申込書	当屋寄り (8月25日)	常会長あて、各3部 募集する役割、依頼文と申込書 A4、横書き
注連縄縄組	9月上旬	参加要請する常会長あて、神社委員、総代会？ 開催の案内、作業内容、所要労力、協力の依頼 A4、横書き 当屋寄りで説明するので不要
楽打ち・巫女の舞練習日程表	9月中旬	関係者あて 練習場所と日程、A4 横書き
注連縄張り、幟立て、楽屋作り	9月下旬	参加要請する常会長あて、神社委員、総代会？ 開催の案内、作業内容、所要労力、協力の依頼 A4、横書き 当屋寄りで説明するので不要
秋季例大祭開催案内 当屋請儀式役割表	10月上旬 役割表完成後	関係者および全戸 内容は注1のとおり。 A3、縦書き 両面印刷にはせず別々に印刷する。
秋季例大祭催行表	10月上旬	関係者 神事と奉納行事を網羅して時間列に並べたもの 前夜祭と大祭の行事一覧、A4、横書き
礼状	10月下旬	各常会長あて 例大祭終了の挨拶と協力への謝意 A4、縦書き 花を出した個人に対する礼状が必要
小祭り開催案内	11月上旬	各常会長あて 開催の通知と参加要請 A4、縦書き
とんど催行案内	1月上旬	各常会長（中の村と瀬谷）あて 開催の通知と参加要請 A4、縦書き

注1：秋季例大祭開催案内文には以下の主旨を盛り込む。

- ・コロナ禍で奉納行事を4年休止したので5年ぶりの奉納行事
- ・従来どおりの奉納行事を心掛けた。ただ、高齢化と人数減のため祭礼時の集中する役務への対応が難しく神楽招聘は断念した。
- ・芸能伝統保存会の発足（六神儀、獅子舞、神輿）は本当屋にとってありがたく、奉納行事催行の新しい姿

・この度の大祭を最大限の努力で催行するので協力と参加をお願いする。

注2：外部との打合せ場所は、川地コミュニティも使用する。本当屋が行うのは神事ではなく奉納行事、つまり住民の総意に基づく自治活動と考える。

注3：開始時刻の影響は大きいので諸準備と内容を含めて検討して決定し記載すること。

6. 次回の本当屋寄りについて

当屋寄り（8月25日）までに予算（各戸負担金額）を固める必要がある。各担当の見積りを積算した予算案を検討し決定したい。また、当屋寄りの内容も準備作業の通知だけでなく他常会に依頼する役務を明示するなど実効性を保つ必要あり。

この検討のため、次回本当屋寄りを8月18日（日）に開催したいがどうか。

観音さん祭りと常会の後で開催する。

7. 悪魔祓い団扇飾りの貼り換え作業

現物が集会所にある。練習に使うと傷むので直前が良いが（結論出ず）。

（以上）